

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		東洋史Ⅰ Oriental History I			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 辻 正博		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月2/月3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
「中国における書写と出版の歴史」 「紙」と「木版印刷術」が発明された中国では、古来、さまざまな材料に文字を記し、他の歴史世界には見られぬほど多様な記録文化を築き上げてきた。 この講義では、書写材料と書写内容の関係、書物の形態、書籍印刷の歴史など、書写と出版をめぐるテーマを取り上げて概説する。本が書店にあふれかえる現代日本とは異なる「書物の世界」を垣間見ることで、中国文化の一端に触れてほしい。									
[到達目標]									
書物の歴史という観点から中国文化に対する理解を深め、また、他の歴史世界の出版文化・文字文化に対する関心と呼び覚ます。									
[授業計画と内容]									
第1週目を「ガイダンス」にあて、講義内容の概略について説明を行う。 第2週目以降は、以下のテーマについて2～3週を充てて授業を行う。 1．書写材料論……甲骨、青銅器、石、竹・木、紙など主要な書写材料について、それらに文字が記された歴史的背景を探る 2．書物の形態……巻物から冊子へと変遷したのはなぜか。そのメリットとデメリット 3．書写・出版と政治権力……使えない文字(避諱)と出版規制 4．書物の消長……書籍の消滅と復活 5．書籍の収集と皇帝による文化事業 6．新技術の登場と出版文化……オフセット印刷が出版文化に及ぼした影響									
[履修要件]									
本講義は、同一内容のものを週2回開講するので、いずれか1つのみを履修登録すること。									
[成績評価の方法・観点]									
期末試験(筆記試験。80%)および平常点(20%)による。									
[教科書]									
使用しない 必要に応じて、プリントを配布する。									
[参考書等]									
(参考書) 井上 進『中国出版文化史—書物世界と知の風景』(名古屋大学出版会) ISBN:4815804206 銭存訓『中国の紙と印刷の文化史』(法政大学出版局) ISBN:9784588371189									
-----東洋史Ⅰ(2)へ続く↓↓↓-----									

東洋史Ⅰ(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

高等学校の「世界史Ｂ」の中国史の箇所について、一通り復習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

文系・理系を問わず、向学心に溢れた皆さんの聴講を歓迎します。

[主要授業科目（学部・学科名）]